

つる 都留市 議会議だより

夏の祭典 熱い戦い

～都留市体育祭り～



正副議長就任あいさつ他…2
都留興譲館高校との主権者教育事業…3
定例会で決まった主なこと他…4～5
市長所信表明…6
代表質問・一般質問目次…7

代表質問・一般質問…8～12
各委員会の審査内容と結果…13
定例会議案議決結果他…14
議会日誌 他…15
未来を紡ぐ～若者×議会～他…16

正副議長 就任あいさつ

志村 武彦 議長
山口 一裕 副議長



このたび私共は、令和6年6月定例会におきまして、議員各位のご信任により、栄誉ある都留市議会議長・副議長に就任いたしました。身に余る光栄と存じますとともに、改めてその責任の重さをひしひしと感じている次第であります。

市議会は、市民の皆様から負託を受けた二元代表制の一翼を担う責任ある意思決定機関であり、市民の皆様の暮らしが少しでも豊かになるための施策を実施していくことができるよう、市長及び執行部としっかりとした議論を重ね、切磋琢磨し、その役割を果たしていかなければならないと考えております。

今後におきましても、皆様の負託にお応えできるよう、市政の監視機能を果たしつつ、市民の皆様の声に真摯に耳を傾けながら、誠心誠意努めてまいりますので、なお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

常任委員会等委員構成

令和6年6月5日現在

議会運営委員会	社会厚生常任委員会	総務産業建設常任委員会
<p>〔議事運営及び議長との諮問に関する事項〕</p>  <p>委員長 谷垣 喜一</p>	<p>〔市民部（市民課・税務課・地域環境課）、福祉保健部（福祉課・長寿介護課・健康子育て課）、都留市立病院・介護老人保健施設（つる）及び教育委員会の所管に関する事項〕</p>  <p>委員長 藤江 喜美子</p>	<p>〔総務部（総務課・企画課・財務課）、産業建設部（産業課・建設課・上下水道課）、会計課、消防本部、議会事務局及び農業委員会の所管に関する事項並びにその他の常任委員会の所管に属さない事項〕</p>  <p>委員長 鈴木 孝昌</p>
<p>委員長 谷垣 喜一</p> <p>副委員長 奥秋 保</p> <p>委員 小俣 武</p> <p>委員 藤江喜美子</p> <p>委員 小澤 真</p> <p>委員 小俣 哲夫</p> <p>委員 山口 一裕</p>	<p>委員長 藤江喜美子</p> <p>副委員長 宮林 俊</p> <p>委員 小俣 義之</p> <p>委員 谷垣 喜一</p> <p>委員 山本 美正</p> <p>委員 日向 美徳</p> <p>委員 志村 武彦</p> <p>委員 山口 一裕</p>	<p>委員長 鈴木 孝昌</p> <p>副委員長 奥脇 隆夫</p> <p>委員 小俣 武</p> <p>委員 国田 正己</p> <p>委員 小澤 真</p> <p>委員 奥秋 保</p> <p>委員 小林 健太</p> <p>委員 小俣 哲夫</p>

政策を通じた主権者教育

～私たちのまちについて考える～

4月26日（金）、都留興譲館高校の生徒33名を議場にお招きし、主権者教育事業を実施しました。

本事業は、昨年4月に実施された市議会議員選挙が市制始まって以来の無投票選挙となったこと、また、近年の選挙における投票率の低下を踏まえる中で、「主権者教育※の推進」を図っていくことが喫緊の課題であると考え、開催したものです。

当日は、高校生が執行部役と議員役に分かれ、「都留市の災害対策における防災計画案」について議論を交わす模擬議会や「都留市の定住・移住対策」に対する模擬請願などの議会体験をしていただきました。

都留市議会では、今回の体験が、政治や社会のことに関心を持ち、それを「自分ごと」として考えた上で、選挙などに主体的に参加できる「主権者」となっていたいただくための第一歩となることを願うとともに、高校生の皆さんの見本となるよう、今後にも更なる努力をまいります。

※主権者教育とは
国や社会の問題を自分ごととして捉え、自ら考え、判断し、行動していく人材を育てること。



高校生からの提案（一部）

○模擬議会

【火山噴火対策について】

避難訓練の実施や防災無線の活用について

噴火を学べる場所の創設について

【豪雨災害対策について】

土砂災害の危険度に対する周知方法やハザードマップの活用方法について

被害を想定したVR動画を作成し、災害を身近に感じてもらう

○模擬請願

【都留市の定住・移住対策】

・学問循環を目標

とした「都留市モデル」の構築

・若年女性の就労

環境構築の推進



質疑応答（一部）

Q 議員を目指した時期は。

A 「都留市を少しでもよくしたい」という気持ちで、今から24年前に決意を新たに立候補しました。

Q 1つの議題に対して、本会議ではどれくらいの議論が交わされるのか。

A 執行部から提出された議案は、委員会で議論しますが、これを委員会付託と言います。都留市の場合は2つの委員会があり、議案の性質によってどちらかの委員会で話し合います。その後、本会議で、委員会での結果を報告し、それを踏まえて採決します。

Q 議員の仕事と議員以外の仕事の割合はどの位か。

A 定例会の開会月とそうでない月で差はあるが、定例会の会期は1か月で20日間ぐらいあるので、その間は議案に対しての調査をしたりしています。定例会以外の月は、市民の皆さんからいただいた要望や陳情などへの対応や次の定例会に向けた準備をしています。私自身は自分の仕事は都合が付けられるので、自分の仕事は朝早くから行い、日中は議員の仕事をしていきます。



最後に全員で集合写真を撮りました！
高校生の皆さん、素晴らしい提案をありがとうございました。

令和6年6月定例会で決まった主なこと

補正予算

議第42号 令和6年度都留市一般会計補正予算（第2号）

■2億2千480万6千円を追加

《主な歳出の内容》

●予防費

6千620万4千円を追加

新型コロナウイルスワクチン接種を予防接種法に基づき「定期接種」として65歳以上の方等※を対象に実施し、接種者の自己負担額の一部を助成します。

※新型コロナウイルスワクチン定期接種対象者

- ・65歳以上の方
- ・60～64歳までの方で心臓・腎臓・呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に1級相当の障がい有する方（季節性インフルエンザにおける接種対象者と同様。）

ただし対象者以外の方も、「任意接種」として受けることができますが全額自己負担となります。

●農業振興費

264万円を追加

都留東部地区の中山間地域総合整備事業実施に向けての区画整備（ほ場整備）に伴う換地計画概要の作成費用。

●観光費

264万円を追加

「つるのルーツプロジェクト」で新規企画を展開し、シビックプラザの醸成を図ります。

※つるのルーツプロジェクトとは？

本市の城下町としての歴史や魅力を発信するためのデジタルコンテンツであり、都留の歴史に関する情報やARによる勝山城等のイメージ画像を携帯端

末で楽しむことができる。また、クイズへの回答などで得られる「城下町ポイント」は、1ポイント1円相当で都留の街の加盟店で使える電子クーポンに交換ができる。

●保健保育総務費

1千95万8千円を増額

働き世代から運動・スポーツを習慣的に実施するためのスポーツを通じた健康増進に資する取組として、令和5年度に引き続き運動・スポーツ習慣化事業を行います。

議第43号 令和6年度都留市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

■516万9千円を追加

《主な歳出の内容》

国民健康保険事業における健康保険証からマイナ保険証への移行について、周知広報事業を実施します。

議第44号 令和6年度都留市病院事業会計補正予算（第1号）

■2千538万8千円を追加

《主な歳出の内容》

市立病院の駐車場不足を解消するための駐車場拡張に向けた開発許可申請業務委託や介護職員等処遇改善、セントラルモニター購入に要する費用。

議第46号 令和6年度都留市一般会計補正予算（第4号）

■263万8千円を追加

《主な歳出の内容》

●教育費

263万8千円を追加

東桂中学校でのクラス編成において、教室の広さ不足が生じたため、パソコン教室を改修し、普通教室として使用します。

表彰

全国市議会議長会会長から長年にわたり市政発展に尽くされた功績により、次のとおり表彰を受けました。

○25年勤続特別表彰

国田 正己 議員

○10年勤続一般表彰

小澤 真 議員

山本 美正 議員



人事案件

議第46号 固定資産評価員の選任について同意を求める件

○与繩 鬢櫛 美咲

選挙

深桂恩賜県有財産保護組合議会議員

○田野倉 小林 民夫、田野倉 小佐野 雄一、田野倉 都倉一浩

奥山外4恩賜県有財産保護組合議会議員

○田野倉 河野 迪治、田野倉 都倉 史朗、田野倉 長田 和夫

野協恩賜県有財産保護組合議会議員

○小形山 寺田 俊美、小形山 城之内 貞夫、小形山 井上 光夫

6月定例会 会期日程

◆6月5日 本会議

(開会)

◎会議録署名議員指名

◎会期の決定

◎提出議案の市長説明

並びに所信表明

◎議案審議

◎常任委員会委員及び

議会運営委員会委員選任

◎議案の委員会付託

◎選挙

◆6月17日 本会議

◎代表質問

◆6月18日 本会議

◎一般質問

◆6月19日

総務産業建設常任委員会

社会厚生常任委員会

◆6月21日 本会議

(閉会)

◎委員長報告

◎議案審議

都留市議会公式YouTubeチャンネルを開設しました!

都留市議会では、市民に開かれた議会を目指し、YouTube(ユーチューブ)の映像配信サービスを利用して、本会議の録画映像の配信をはじめました。本会議(代表質問・一般質問)の様子を録画配信していますので、ぜひご覧ください。

※ご視聴される際の通信料は視聴者負担となります。スマートフォン等による視聴は、通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信事業者から高額な料金請求がくる場合がありますので、特にご注意ください。

URL : https://www.youtube.com/channel/UCrbbxImGUNo8do114Ln2f_A



市長の所信表明



子育ての喜びが実感できるまちづくりを目指し、長期的視点を持って人口減少対策に取り組みます。

○人口減少対策について

4月24日に、民間有識者で構成する「人口戦略会議」のシンポジウムにおいて、20代から30代の女性人口の減少率を基にした自治体の「持続可能性」に関する調査による「2050年以降の消滅可能性都市」として、県内11市町村を含む、全国744市町村が公表され、本市も該当する結果となりました。

この調査は、本市のように、若年女性の移動比率が非常に高く、そのほとんどが学生であり、出生率を算出する母数としては単純に算入しにくいという、まちの特殊な実態とは乖離した条件下による推計結果ではありますが、可能性の一つとしてこの結果を受け、改めて人口減少対策に取り組むことの重要性を再認識したところです。

市では、将来の人口を推計する中で、これまでも様々な施策を講じてきましたが、今後も、子育ての喜びが実感できるまちづくりを目指し、若年女性の定住促進を図るとともに、企業誘致による雇用の確保や公園整備による環境の充実など、多面的な方策により、長期的視点を持って人口減少対策に取り組んでまいります。

○「企業誘致」について

全国的な分譲可能工業用地の減少により、工業団地整備の需要が高まっており、工業団地の整備や工場の建設・操業が進むことで、雇用の創出や

経済効果が期待されることから、国では令和15年までに新たに1万ヘクタールの工業用地を確保する目標を掲げています。

本市は、立地環境について企業から高く評価されていますが、既存工業団地に空き区画が無い状況を踏まえ、東京圏へのアクセスに優れ、災害リスクの少ない厚原牛石地区へ新工業団地を整備するため、現在、用地交渉に着手したところです。

また、立地する企業を確保するため、関係機関と連携する中で、様々な誘致活動を行ってきたところ、複数の企業が視察に訪れ、前向きなご検討をいただいているところです。

○「重層的支援体制整備事業の実施」について

本市では、令和4年度から福祉保健部を中心に重層的相談支援を行っておりますが、福祉保健分野だけでなく、より複雑化・複合化した市民支援ニーズに対応するため、本年度より、社会福祉法に基づく『都留市重層的支援体制整備事業』の本格的な実施に向けた体制づくりに着手したところです。

また、都留市立病院内に「富士・東部医療的ケア児支援センター」が開設されたことを契機に、福祉保健分野における県との連携を強めながら、本市の強みである「地域力」を活かし、本事業を一步一歩着実に進めていきます。

○「公共交通の再編」について

昨年11月に実証運行を行ったA1Eデマンド交通「A1Eつるごと」を新たな公共交通の核に位置づけた抜本的な再編が必要であると認識しており、A1Eデマンド交通の市街地への本格導入とともに、既存路線の廃止や見直し、A1Eデマンド交通を補完する交通サービスの検討もあわせて行っています。

市政を問う！

議会だよりでは、質問と答弁の要旨を掲載します。全文については、会議録をご覧ください。会議録は市ホームページ、市立図書館及び都留文科大図書館、各地域コミュニティセンターで閲覧できます。



会議録検索システム

代表質問

1 創政会 **志村 武彦** 議員 8ページ

- (1) 都留市人口ビジョンについて
- (2) 市役所受付窓口業務について

2 ビジョン21 **小俣 武** 議員 9ページ

- (1) 人口減少社会での市政全般について

一般質問

1 **山本 美正** 議員 10ページ

- (1) 消滅可能性都市について

2 **小俣 義之** 議員 10ページ

- (1) 共生社会の実現に向けた認知症施策について ほか

3 **小林 健太** 議員 11ページ

- (1) 総合運動公園の整備について
- (2) 教育環境について

4 **谷垣 喜一** 議員 11ページ

- (1) 軟骨伝導イヤホンの導入について
- (2) 高齢者等補聴器購入費用助成事業について
- (3) 使用済み紙おむつの再資源化について ほか

5 **奥脇 隆夫** 議員 12ページ

【関連質問】消滅可能性自治体について

- (1) 厚原牛石地区の現状について
- (2) 「つる湧水のほとりエリア」の整備について

6 **宮林 俊** 議員 12ページ

- (1) 都留市火葬場「ゆうきゅうの丘つる」について ほか



議員 志村 武彦 創政会

都留市人口ビジョンについて問う

問 令和5年度の出生者数と死亡者数は。

答 出生者数136人、死亡者数440人である。

問 令和5年度の転出者数と転入者数は。

答 転入者数1千330人、転出者数1千455人である。

問 10年後・20年後の人口予測は。

答 少子化対策などの人口誘導策の実施を考慮しない場合、10年後の2035年においては2万3千428人、20年後の2045年には1万8千881人と2万人を下回る厳しい推計となっている。

一方、少子化対策・人口誘導策を実施した場合は、10年後2万9千563人、20年後2万8千355人の推計となるが、その場合の少子化対策の実施による希望出生率は1・8に設定している。

問 市民意識調査の結果をどのように分析しているのか。

答 転出を考える方は6・7パーセントであり、その理由としては、「公共交通の不便さ」や「働く場所がないこと」などが多くを占めているため、これらの問題の解消について取り組むことが、本市の人口減少問題への重要な施策になると分析している。公

公共交通の改善策としては、「都留市地域公共交通計画」を策定し、A1デマンド交通を軸に新たな公共交通システムの導入に向け取り組みを進めるとともに、企業誘致を促進し、働く場の創出を図っていく。

問 人口減少に歯止めをかけるため、今後どのような施策を実施するのか。

答 今後も、第6次都留市長期総合計画後期基本計画のリーディングプロジェクトである「産業支援による地域活性化」「教育首都つるの現」「子育ての喜びが実感できるまちづくり」「安心して暮らせる安全なまちづくり」の4つの施策を着実に実施していく。

市役所受付窓口業務について問う

問 転入・転出・お悔み時の受付窓口は現在どの様に対応しているのか。

答 転入・転出時は、市民課窓口担当において、届け出の際に、市民用で作成した「必要な手続き一覧」を確認していただきながら、一部の手続きを除き対応している。

また、お悔みについては、火葬場予約の際に、市民課窓口担当から関連部

署等へ確認し、必要書類をまとめ届出時に渡しているが、転入・転出・お悔みいずれの場合も、家族構成や状況、特殊な事情がある場合等は「いきいきプラザ都留」や「教育プラザ都留」での手続きが必要となっている。

問 ワンストップ総合窓口の設置の考えは。

答 現在、庁内プロジェクトチームにおいて「書かない窓口」の検討を進めている。「ワンストップ総合窓口」の設置については、設置場所の確保や人員配置など、非常に厳しい状況にあると判断しているが、転入・転出・死亡届に伴う主な手続き一覧の見直しやハンドブックの作成を行い、市民サービスの向上につなげていく。

また、令和7年度に基幹システム標準化を控えていることから、まずは現状を把握し、課題の洗い出しを行い、これからの時代にふさわしい窓口機能や行政サービスの実現に向けた検討を進めていく。



人口減少社会での市政全般について問う



ビジョン21 小俣 武 議員

問 急激な人口減少社会と2040年問題への対策は。

答 2040年問題については、シニア世代の雇用創出や女性が働き続けられる環境整備などに取り組む必要があるため、国や県の支援策を注視するとともに、後期基本計画との関連性を考慮しながら対応していく。

問 管理不全空家と特定空家の対策は。

答 除却等のさらなる推進に加え、有効活用や適切な管理を所有者に促していくことが必要である。

特に管理不全空家と特定空家は、所有者の責務の強化などについて法改正がされているため、これらの適正な運用により空家を解消し、安全・安心なまちづくりに繋げていく。

問 高齢者、後期高齢者への対応は。

答 介護人材不足が予測されており、介護サービスが必要でない期間、つまり健康寿命を延ばすことが重要となる。

健康寿命を延ばすためには、人と話をする、活動すること、家に閉じこもらず通いの場へ参加し、生きがいを持つことで認知症や介護状態になることを防ぐことができると言われているため、本市では、生活習慣の改善や

通いの場へ参加することでポイントが貯まり、楽しみながら健康づくりを行うことができる「高齢者はつらつ健康ポイント手帳事業」など、多種多様な高齢者施策を行っている。



問 消防団における部合併の早期実現の考えは。

答 消防団等関係団体と協議を重ね、地域の実情を考慮しながら適正団員数を算出し、分団各部の統合も視野に入れた「都留市消防団再編基本計画」の策定を進めている。

問 第6次長期総合計画の進捗状況と後期計画で見直した内容とは。

答 持続的なまちを実現するため、企業誘致などを柱とし、「産業支援による地域活性化」「教育首都つる」の実現、「子育ての喜びが実感できるまちづくり」「安心して暮らせる安全のまちづくり」の4つをリーダーシッププロジェクトに据えている。

問 コンパクトシティ構築についての考えは。

答 本市の都市構造を今後も維持

し、豊かな自然が身近にある良好な市街地環境の継承と効率的な都市施設整備を推進する。

問 都留文科大学の将来への対策は。

答 都留文科大学は「教育首都つる」の核として、「地域に貢献する大学」として発展し続けていくことが必要不可欠である。

「魅力あふれる大学」として、また、「選ばれる大学」として発展し続けるため、時代の潮流をしっかりと捉え、今後とも設立者としての役割を果たしていきたい。

問 公共施設の抜本的改革と維持管理の考えは。

答 「都留市公共施設等総合管理計画」に基づき、全庁的に長期的な施設の管理運営に取り組んでいるが、本市の実情を踏まえ、コストの縮減や平準化を図りつつ、廃止などの抜本的な改革も視野に入れ、社会変化に適合した健全な施設運営や見直しを図っていく。

問 市税の減収対策は。

答 子育てや教育施策の充実による定住促進や企業誘致の推進により、恒久的な税収となる固定資産税及び法人市民税、さらには、雇用の創出による個人市民税の拡充等により、税収の確保を目指す。

共生社会の実現に向けた認知症施策を問う



小俣 義之 議員

問 認知症基本法施行に伴う本市の方向性を伺う。

答 「第9期都留市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」では、認知症高齢者への支援の強化を意識した内容を盛り込み、認知症になっても住み慣れた場所での生活ができるよう認知症に対する理解を促進しつつ、地域全体で認知症高齢者を見守り、介護者を支えるための取り組みを推進している。

問 認知症高齢者の具体的な対策は。一次予防として「いーばしよ」事業やセーフコミュニティの取り組み

答 みなど、多種多様な事業を展開し、二次予防としては、「75歳実態把握事業」における認知機能測定の実施や訪問、「いーばしよ」支援の中で相談などの取り組みを積極的に行っている。また、三次予防として、医療や介護サービスの相談、受診支援や家族支援を行っており、医療と介護の連携による本人と家族への支援をケアマネジャーやサービス事業所、病院、薬局などが連携し、チームで支援を行っている。

問 サービスの質の確保・向上のための人材育成の考えは。

答 認知症高齢者や単身高齢者世帯等

の増加に伴い、地域包括支援センターの高齢者に対する相談や支援体制づくりなども多様化し、相談を受ける職員も知識と経験が必要となってきた。

今後も人材育成をはじめ、研修会等への参加促進など、人材の確保も含め、更なる認知症ケアにおけるサービスの質の確保・向上に努めていく。

【その他の質問】
■富士・東部医療的ケア児支援センターについて

消滅可能性都市について問う



山本 美正 議員

問 消滅可能性都市とは。民間有識者でつくられた「日本創成会議」による自治体の持続可能性を分析したレポートにおいて、一定程度の速度以上で人口減少が見込まれる自治体について、将来に消滅する可能性のある自治体を指し示したものである。令和6年4月に人口戦略会議より公表された「令和6年・地方自治体『持続可能性』分析レポート」では、若年女性人口が2020年から2050年までの30年間で50パーセント以上減少する自治体を「消滅可能性都市」としている。

問 どのような分析によって「特に構造的に深刻な自治体」と判断されたのか。

答 今回のレポートでは、新たな視点として自然減対策と社会減対策の両面から分析を行い、地域の実状と課題を考えるための参考として公開されたものである。本市の移動想定地域別将来推計人口は、2014年から1・1ポイント悪化し50・5パーセント、封鎖人口を仮定した将来推計人口では50・7パーセントとなり、両方の推計値における若年女性の減少率が50パーセントを超過したことから「構造

的に深刻な自治体」のうちの一つに該当するとの評価となった。

問 どのような対策を行っていくのか。

答 少子化対策などの自然減への対策と、東京への一極集中の是正を中心とした社会増への取り組み等の両面からの施策を講じていく必要がある。これまでも生涯活躍のまちに関する取り組みを推進してきたが、今後も、直接的な施策だけでなく、働く場を創造する企業誘致や子育て環境の整備等、多面的な施策により子育ての喜びが実感できるまちづくりを目指し、人口減少対策に努めていく。

軟骨伝導イヤホンの導入を問う



谷垣 喜一 議員

高齢者等補聴器購入費用助成事業を問う

問 認知症の予防と高齢者の積極的な社会参画を実現するため、軟骨伝導イヤホンの導入が必要では。

答 長寿介護課では、6月から軟骨伝導イヤホンを導入し試験的に活用を始めており、福祉課においても本年度中の試験的導入を検討している。また、「軟骨伝導イヤホン」の体験希望の方には、貸し出しを行なう予定である。

使用済み紙おむつの再資源化を問う

問 本市の現状と今後の考えは。

答 障害者総合支援法に基づく補装具費として購入助成を行なっている。今後は、要介護認定を受けていない65歳以上の方を対象とした生活状況調査の結果送付の際に、チラシを同封し、早めの医療機関への受診を促していく。また、現在助成対象外の方については、引き続き、国や近隣市町村の動向を注視しながら検討する。

【その他の質問】 子ども誰でも通園制度について

問 本市の現状と今後の取り組みの考えは。

答 現状、再資源化の計画はない。令和14年度に新ごみ処理施設が稼働予定のため、状況等を踏まえ、構成市町村とともに検討していく。

問 静岡県では県全体で取り組んでいる。都留市から県への働きかけをどうするか。

答 山梨県廃棄物処理事業連絡協議会で議題として取り上げていただくよう提案したい。

総合運動公園の整備を問う



小林 健太 議員

問 公園の概要と総事業費は。

答 公園の概要と総事業費は、大型遊具等を整備した公園となる。総事業費は、6・3億円程度。国の交付金や交付税措置などにより、市の負担は半額程度となる。

問 公園整備全体での経済波及効果は。

答 nicotの設置により、雇用や消費などの経済循環を創出していると考えている。公園全体の費用便益比※は4・09であり、非常に効果的であるとの結果である。

※費用便益比とは：値が大きいほど「費用に対して効率よく効果が発生する事業」と判断することができる。

問 未来を見据えた計画はあるか。

答 人口減少を踏まえ、立地適正化計画を策定する中で調査研究していく。

問 ハード面の整備について。

答 禾生第二小学校付近で発生した2回の倒木では、周辺民有地までの把握はできていなかった。今後は通学路も含め把握に努め、学校施設の老朽化についても、適時対応をしていく。

問 コミュニティ・スクールの活動内容は。

答 まだ統合が決定したわけではないため、現在は地域とともにある学校を目指した活動を取り組んでいる。

問 市内3小・中学校となる構想があると思うが、施設の方向性は。

答 議員指摘の通り、市内3校の構想については早い段階での協議、準備が必要となるため、先進自治体の状況も考慮しつつ関係諸団体と検討していく。

市政を問う!

都留市火葬場「ゆうきゅうの丘つる」を問う



宮林 俊 議員

問 現在の火葬炉利用状況及び火葬場運用時間は。

答 令和5年度は491体の火葬を行った。運用時間は、午前9時から午後5時までである。

問 火葬場の稼働率は。

答 14・9パーセントである。

問 1日最大7回の火葬が可能との事だが、現状は4回が限界なのではないかとの事である。故人を偲ぶ場である火葬場において、後の方と重なり大変混雑し、待ち時間も長くなっているという声も多数聞いているが、当局の考えは。

答 令和5年度に葬儀業者へアンケート調査を実施し、変更を検討した経緯もあるが、さらに調査検証し、市民の利便性を最優先に検討を進めていきたい。

問 将来の広域化の考えは。

答 現施設建設の際には、旧山梨県東部広域連合でその可能性も検討したが、他市町村との調整が進まず、現状では広域化の協議は行っていない。

問 今後の少子高齢化を鑑みた際に、火葬炉や建物の増築等の考えは。

答 現状の稼働率からは使用状況に余裕はあるが、今後、稼働が増大す

問 建設の際は他市町村との調整が進まなかったとのことだが、その後、打診等はあったか。

答 令和4年度に大月市から相談を受け、事務レベルで協議した経緯がある。

◎施設整備の際には、広域的な観点も踏まえ、持続可能な施設の管理を願います。

【その他の質問】
都留市フィルムコミッションについて

【関連質問】消滅可能性自治体を問う



奥脇 隆夫 議員

問 「消滅可能性自治体」の実態にそぐわない結果とはどういうことか。

答 一般的な自治体とは違う人口構成の本市において、実態にはそぐわないという評価もあると考えている。

問 消滅可能性自治体で特に深刻な自治体と分析されたが、施策は継続なのか軸足を変えるのか。

答 今後も長期総合計画をまちづくりの羅針盤とし、さらに強く地方創生の取り組みを継続していく。

問 厚原牛石地区の現状を問う

問 工業団地化の進捗状況と想定する誘致企業は。

答 令和8年度の工業団地化を目指し取り組んでいく。製造業、物流業、観光業のいずれかで、県が成長分野として位置づけている産業で主に数百名規模の雇用が創出される企業の誘致を進める。

問 「湧水のほとり」エリアの整備を問う

答 公園整備のコンセプトとエリア内での連携の考えは、ユニバーサルデザインに配慮し、

障がいの有無や年齢に関係なく利用できる機能を持つ、憩いと賑わいの場を創出する公園である。エリア内のnicotや都留フィールドミュージアム（仮称）の整備により、相乗効果が期待されるため、各施設との連携を進めていく。

問 サービス付き高齢者向け住宅事業の構想と今後の方針は。

答 本年1月には事業範囲を拡大し公募をしたが、現在も事業者決定に至っていない。今後も本事業のコンセプトをしっかりと継続し、検討を進めていく。

総務産業建設

常任委員会

6月19日
午前10時から

委員長：鈴木 孝昌 副委員長：奥脇 隆夫
委員：小俣 武、国田 正己、小澤 眞、奥秋 保、小林 健太、小俣 哲夫

付託された議案1件(補正予算1件)について、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決としました。

■審査した議案(付託議案)

- ・議第42号 令和6年度都留市一般会計補正予算(第2号)
- ※議第42号は、それぞれの常任委員会で所管する補正予算案を分けて審査します。

主な
質疑
内容

問 【観光宣伝事業】「つるのルーツ」プロジェクト事業の新規企画の内容とは。

答 誘客増進として、その場所に行くポイントが得られる「チェックイン機能」と「掲示板機能」を追加する。



◀つるのルーツ
ホームページはこちらから

社会厚生

常任委員会

6月19日
午後1時30分から

委員長：藤江 喜美子 副委員長：宮林 俊
委員：小俣 義之、谷垣 喜一、山本 美正、日向 美徳、志村 武彦、山口 一裕

付託された議案4件(条例1件、補正予算1件、事業会計補正予算2件)について、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決としました。

■審査した議案(付託議案)

- ・議第41号 都留市税条例中改正の件
- ・議第42号 令和6年度都留市一般会計補正予算(第2号)
- ・議第43号 令和6年度都留市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- ・議第44号 令和6年度都留市病院事業会計補正予算(第1号)
- ※議第42号は、それぞれの常任委員会で所管する補正予算案を分けて審査します。

主な
質疑
内容

問 【環境保全対策事業】除塵機の修繕内容と大雨・台風シーズンに向けた市民への周知について。

答 カメラの設置と遠隔操作機能を追加する。

■大雨、台風シーズンを迎えるにあたり、家中川のごみが増加すると想定される。ごみを流さないようにするため、住民への呼びかけやキャンペーンなどをぜひいただきたい。

問 【新型コロナウイルスワクチン接種対策事業】定期接種者の自己負担額は。

答 医療機関への委託料の支出により、接種者の自己負担は3,500円程度となる見込み。

問 【市立病院駐車場 拡張開発事業】拡張後の駐車台数と外来患者の駐車位置は。

答 40～50台分の増設を見込んでいる。来院者の駐車場を建物近くに増設する。

6月定例会議決結果

(議員別賛否を含む)

区分	議案等名	議員名	議決結果	宮林	奥脇	山口	小俣	志村	小林	日向	奥秋	山本	小澤	藤江喜美子	鈴木	谷垣	国田	小俣	小俣	
				俊	隆夫	一裕	哲夫	武彦	健太	美德	保	美正	眞	孝昌	喜一	正己	義之	武		
市長提出	承第3号 専決処分の承認を求める件 (都留市国民健康保険税条例中改正の件)	承認	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承第4号 専決処分の承認を求める件 (都留市税条例中改正の件)	承認	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承第5号 専決処分の承認を求める件 (都留市水道事業給水条例中改正の件)	承認	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第40号 令和6年度都留市一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第41号 都留市税条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第42号 令和6年度都留市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第43号 令和6年度都留市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第44号 令和6年度都留市病院事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第45号 令和6年度都留市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第46号 固定資産評価員の選任について同意を求める件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ×は反対 欠は欠席 ※議長は採決に加わりません。

各会議等における議員の欠席等 日数状況報告

(R6.4月~R6.6月)

		宮林	奥脇	山口	小俣	志村	小林	日向	奥秋	山本	小澤	藤江喜美子	鈴木	谷垣	国田	小俣	小俣
		俊	隆夫	一裕	哲夫	武彦	健太	美德	保	美正	眞	孝昌	喜一	正己	義之	武	
本会議	欠席	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	遅刻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	早退	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
常任委員会	欠席	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	遅刻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	早退	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特別委員会	欠席	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	1
	遅刻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	早退	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
全員協議会	欠席	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1
	遅刻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	早退	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
議員研修	欠席	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	遅刻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	早退	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

議 会 日 誌

4月

- 1日(月) 年度始め式
- 2日(火) 教育プラザ都留オープニング式典、議会だより編集委員会
- 4日(木) 都留文科大学入学式
- 11日(木) 山梨県市議会議長会正副会長・事務局長会議
- 14日(日) 第50回ソフトボール大会年間総合開会式
- 16日(火) 議会だより編集委員会
- 17日(水) 第271回山梨県市議会議長会定期総会
- 18日(木) 会派代表者会議、全員協議会、教育・DX等政策推進特別委員会
- 23日(火) 森林整備協定締結式
- 25日(木) 第90回関東市議会議長会定期総会
- 26日(金) 都留興譲館高校との主権者教育事業
- 29日(月) 市制70周年記念式典、つる大使委嘱式



5月

- 3日(金) 第49回郡内少年野球大会都留市大会開会式
- 14日(火) 全国自治体病院経営都市議会協議会 第80回理事会・第52回定期総会、栃木県さくら市議会総務常任委員会行政視察
- 16日(木) 会派代表者会議、全員協議会、議会改革特別委員会、教育・DX等政策推進特別委員会
- 17日(金) 都留市はつらつ鶴寿大学入学式・始業式、都留市観光協会定期総会
- 18日(土) 都留機械金属工業協同組合第53回通常総会懇親会



- 21日(火) リニア・観光振興特別委員会
- 22日(水) 全国市議会議長会 第100回定期総会
- 23日(木) 全国市議会議員共済会第128回代議員会、都留市商工会第63回通常総代会、特定非営利法人都留市スポーツ協会定期総会
- 24日(金) 都留市民生委員児童委員協議会定期総会
- 25日(土) 第31回都留市ふれあい全国俳句大会
- 26日(日) 都留市文化協会定期総会
- 30日(木) 青少年育成都留市民会議定期総会
- 31日(金) 議会運営委員会、全員協議会、都留市老人クラブ連合会定期総会、リニア・観光振興特別委員会

6月

- 5日(水) 6月定例会開会
- 14日(金) 第40回ふるさと時代祭り実行委員会総会
- 17日(月) 代表質問、全員協議会
- 18日(火) 一般質問
- 19日(水) 総務産業建設常任委員会、社会厚生常任委員会
- 21日(金) 6月定例会閉会
- 24日(月) 滝下浄水場新水源施設完成記念式典
- 28日(金) 都留市消防団長就任披露



6月2日(日)に市防災訓練に合わせ、昨年度策定した「都留市議会業務継続計画」(議会BCP)に基づく、議員の安否確認訓練、オンライン会議訓練を実施しました。



議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か ?

次回の定例会は、
9月4日(水)午前10時
開会予定です。
お気軽にお越しください。

各委員会も傍聴することができます。

- **総務産業建設常任委員会**
9月19日(木)午前10時～
- **社会厚生常任委員会**
9月19日(木)午後1時30分～
- **決算特別委員会**
9月20日(金)午前10時～
9月24日(火)午前10時～
9月25日(水)午前10時～





未来を紡ぐ 若者×議会

～若者と議会で織りなすこれからの都留市～



山梨県立都留興譲館高校
3年
小宮 正希さん



山梨県立都留興譲館高校
3年
小林 ゆいさん

これからも都留市と育っていくために

私は、模擬議会という形で議会と関わることがありました。消滅可能性自治体といった難題に対して、当事者意識をもって取り組むことの難しさと共に、議会の重要性を再認識しました。

議会への関心が薄れている今だからこそ、私たち学生一人一人が主権者教育等を通して、自分の中に芯を持ち、都留市に向き合う小さな議員になっていきたいです。学生一人からでも意識が伝播し、都留市という大樹を支える根を張っていくことが大切と感じます。これからも都留市が遅く成長するためにも、私も成長し続けていきたいです。

都留市と議会の関わり

都留市という街は教育機関が充実しており、学生が集まる街として活気溢れています。また城下町という都留市特有の歴史文化があります。そんな大きな魅力を持つ都留市を、国内に関わらず広く発信してほしいと思います。

私達は今年4月に模擬議会に参加しました。それぞれのチームで防災をテーマに話し合い、実際に議会で発表しました。この機会は今年、選挙権を持つ私達にとって良い機会だったと感じます。模擬議会の機に、私もこれからの選挙に向け学んでいけたらと思います。

●表紙の説明

7月6日(土)・7日(日)に都留市体育祭りが開催されました。都留市体育祭りは、市民一人一人がスポーツに親しむ中で、スポーツ精神の高揚と市民の健康増進や体力向上を図り、明るく豊かな市民生活を実現するために開催されており、今年で56回目となります。開会式前には和太鼓や空手などアトラクションの披露があり、華やかな開会となりました。



議会だより編集委員会

次期定例会及び請願提出について

9月定例会日程(予定)

- 開 会 9月 4日(水)
- 代表質問 9月17日(火)
- 一般質問 9月18日(水)
- 閉 会 9月30日(月)

請願提出締切日(予定) ●8月30日(金)

※定例会日程は、決定次第、市ホームページにてお知らせいたします。

議会だより編集委員会
委員長 谷垣 喜一
副委員長 志村 武彦
委員 鈴木 孝昌
委員 藤江喜美子
委員 山口 一裕

編集委員 谷垣 喜一

「ごどもまんなか社会」をめざして2022年6月に成立した「ごども基本法」では、これまで支援の対象とされていた子ども・若者を「権利の主体」と位置付け、意見表明の機会確保などが明記され、さらに国や自治体には、子ども・若者の意見を施策に反映する措置を求めています。

都留市議会では、議会活動への理解を深めていただくため「主権者教育」に取り組んでおり、市内3中学校へ出向いての議会報告会や都留興譲館高校の生徒を議場に招いての模擬議会等を開催してきました。

投票権が18歳へ引き下げられたことも踏まえる中で、若い世代が議会に求めている内容を真摯に聞いていく機会を設けていくとともに、今後は、ユーチューブの活用や親しみやすい議会だよりの編集などの情報発信に注力をしてまいります。

